

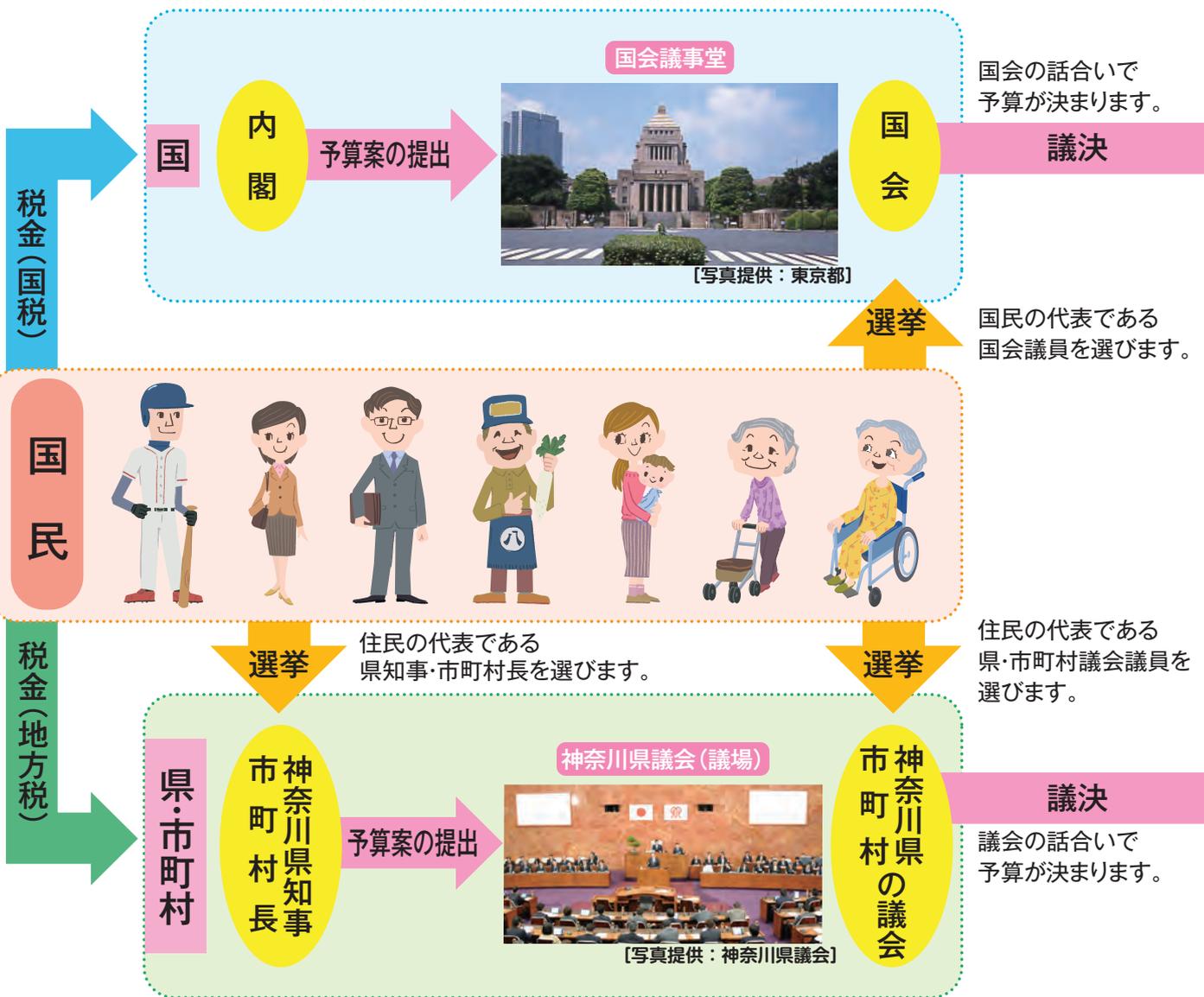
3 税金の使いみちはどうやって決めているの？

国や県などが、1年間に入るお金（歳入）と使うお金（歳出）を、あらかじめ見積もって計算したものを「予算」といいます。予算は、話し合いで決められています。

【国の予算の決め方】

国に入るお金のうち約68%は国民が納める税金（国税）です。国は、国民のくらしを豊かにするために、これらのお金をどう使うかを話し合いで決めています。まず、内閣が1年間に入るお金（歳入）と、使うお金（歳出）の計画（予算案）を作ります。

そして、その予算案について、国民の代表である国会議員が国会で話し合い、予算が決めます。



【県の予算の決め方】

県に入るお金のうち約66%は県民が納める税金（地方税）です。県は、県民のくらしに必要なことを地域の意見や状況を考慮して、これらのお金をどう使うかを話し合いで決めています。まず、知事が1年間に入るお金（歳入）と、使うお金（歳出）の計画（予算案）を作ります。

そして、その予算案について、県民の代表である県議会議員が県議会で話し合い、予算が決めます。市町村の予算の決め方も同じです。

【公債金・県債ってなに？】

国や県で使うお金が税金だけでは足りないときに、国や県が借金をして得るお金のことです。

【交付金ってなに？】

国と県・市町村との財政バランスを保つため、国から県・市町村に支出されるお金のことです。

【将来の税はどうなるの？～国の借金～】

国で使うお金の約7割は税金やその他の収入ですが、残りの約3割は「公債金」で補っています。

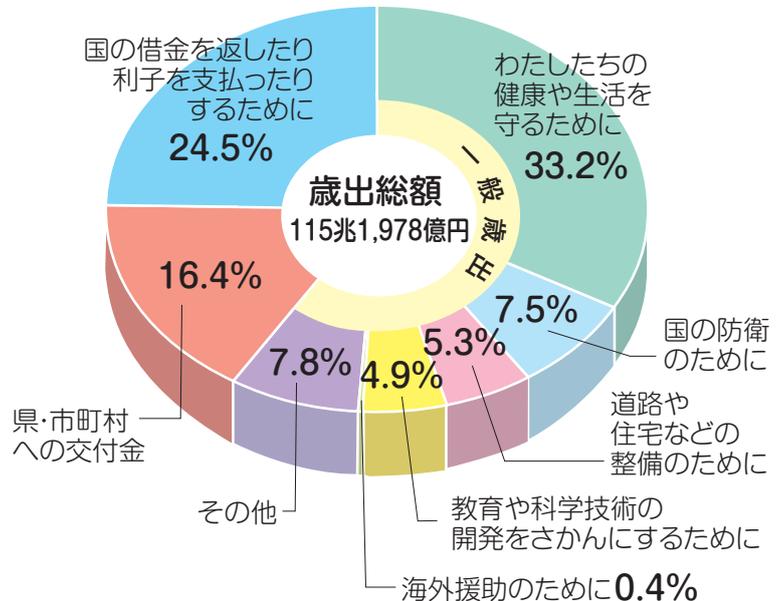
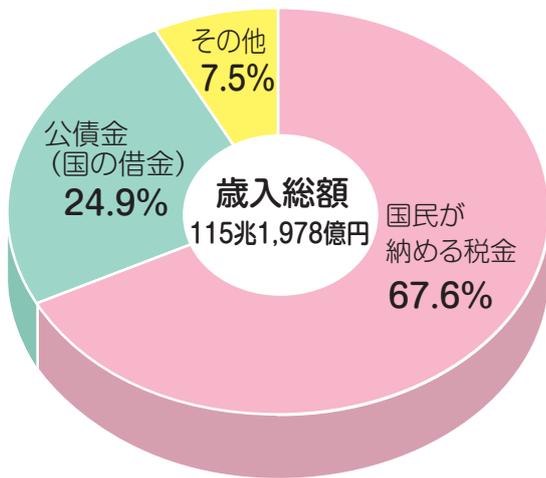
国民の生活を守るために借金をしてでも、すぐに活動しなければならないことがあるからです。

借りたお金は返さなければいけませんので、税金を使って返しています。この返さなければならないお金が増えていることが、今、日本で問題となっています。

この問題を解決するにはどうしたらいいのかわずか
みんなで話し合おう！



◆国の予算 (令和7年度一般会計当初予算)



◆神奈川県予算 (令和7年度一般会計当初予算)

